

「吾妻山火山噴火防災訓練」の実施について

福島河川国道事務所では、昨年度に引き続き、吾妻山の噴火に備え、迅速かつ適確な行動が図れるよう、吾妻山火山噴火防災訓練を実施します。

吾妻山が小規模水蒸気噴火した場合を想定して、降灰による土石流氾濫シミュレーションや情報伝達などの訓練を実施します。

- ◆訓練日時 平成27年10月2日（金）10:30～15:30（予定）
- ◆実施場所 福島河川国道事務所防災センターほか
- ◆参加機関 東北地方整備局、福島地方气象台、福島県、福島市、福島河川国道事務所
- ◆訓練内容
 - 被害の規模は、現在仙台管区气象台より発表されている噴火警戒レベル2規模の小規模水蒸気噴火が大穴火口において発生した場合を想定。
 - 訓練内容は、吾妻山火山噴火緊急減災対策砂防計画*に基づき国の砂防部局が実施する被害軽減対策等。
 - 当日、実施を予定する主な訓練内容は以下のとおり
 - ・CCTVによる降灰状況調査
 - ・降灰による土石流氾濫シミュレーション
 - ・衛星通信車での画像伝送訓練
 - ・TV会議システムによる関係機関との情報伝達訓練

※ヘリコプターによる上空からの降灰範囲調査訓練は行いません。

発表記者会 <福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ>

| 問い合わせ先 | |
|-------------------------|--|
| 国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 | |
| 副所長（河川担当） | 二瓶 昭弘（内線204） <small>にへい あきひろ</small> |
| 調査第一課長 | 奥中 智行（内線351） <small>おくなか ともゆき</small> |
| TEL 024-546-4331（代） | |

※吾妻山火山噴火緊急減災対策砂防計画

火山噴火時に発生が想定される溶岩流、火山泥流、土石流等の土砂災害による被害を軽減するため、国及び県の砂防部局がハード・ソフト両面の対策を定めたものです。

計画策定にあたっては、福島県緊急減災砂防計画策定委員会（学識経験者、気象庁や自衛隊、消防、警察などの関係機関及び、県・市町村などにより構成）において検討し、平成25年1月に策定及び公表しています。詳細は下記URLへジャンプ。

<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/sabo/400/424.html>

○「吾妻山火山噴火防災訓練」のタイムスケジュールについて

※ 「吾妻山火山噴火防災訓練」の取材ポイントのご参考として、タイムスケジュールをお知らせします。なお、訓練実施状況の撮影取材は可能です。

◆タイムスケジュールと訓練メニュー（予定）

※平成27年10月2日(金)午前10:25

吾妻山大穴火口付近で小規模の水蒸気噴火が発生したことを想定。

取材ポイント1 【福島河川国道事務所 防災センター】

10:30頃～ 防災センターに関係職員参集

11:20頃～ CCTVによる降灰状況調査、降灰による土石流氾濫シミュレーション

取材ポイント2 【福島市仁井田地内 支川荒川 仁井田橋付近】

13:00頃～ 衛星通信車による画像伝送訓練

取材ポイント3 【福島河川国道事務所 防災センター】

14:00頃～ 福島県及び福島市とのTV会議システムによる情報伝達

なお、各取材ポイント箇所の詳細については、別紙を参照下さい。

別紙



▲衛星通信車設置訓練及び画像伝送訓練箇所 位置図
(荒川 仁井田橋)